

6. 佐賀県の自然環境

◆佐賀の豊かな「森・川・海」を人が未来へつなぐ

長い歴史において、佐賀の人々は、山に植林をし、川の治水と利水に力を尽くし、海に堤防を築きながら、実りある豊かな暮らしをつくりあげてきました。先人たちが大切に育み残してくれた壮大な森川海は、私たちの今を支えています。

「森川海人っプロジェクト」は、佐賀の豊かな「森・川・海」を人が未来へつなぐ取り組みです。

プロジェクトを通して、ひとりひとりが「森川海はひとつ」という思いをもつことで、次の世代の豊かな暮らしへつなげます。



森川海人っプロジェクトはどんな取り組み？

森川海人っプロジェクトでは、県民の皆さんに森川海のつながりや管理の重要性を知ってもらい、森川海での保全活動などの行動につなげてもらうために、以下のような取り組みを行っています。

▼森川海人っフェス！



▼森川海人っ合宿



▼森川海人っサミット



▼森川海人っ教室



▼森川海人っ森づくり協定



▼普及啓発グッズの作成



他にも…

▼チーム森川海人っ（プロジェクトの趣旨に賛同する企業・団体や学校など）の募集

▼フィールドマスター（自然体験スクールや清掃活動などに積極的に取り組んでいる方）の認定

▼森川海人っプロジェクト公式 HP・SNS での情報発信など様々な取り組みを行っています。

地球を巡りつづける壮大な水の旅

水は姿を変えながら、地球上を旅しています。

太陽の熱によって海や陸の水が蒸発、水蒸気となって上空にのぼっていきます。水蒸気はやがて雲となり、雨や雪となって地上に降りそそぎます。

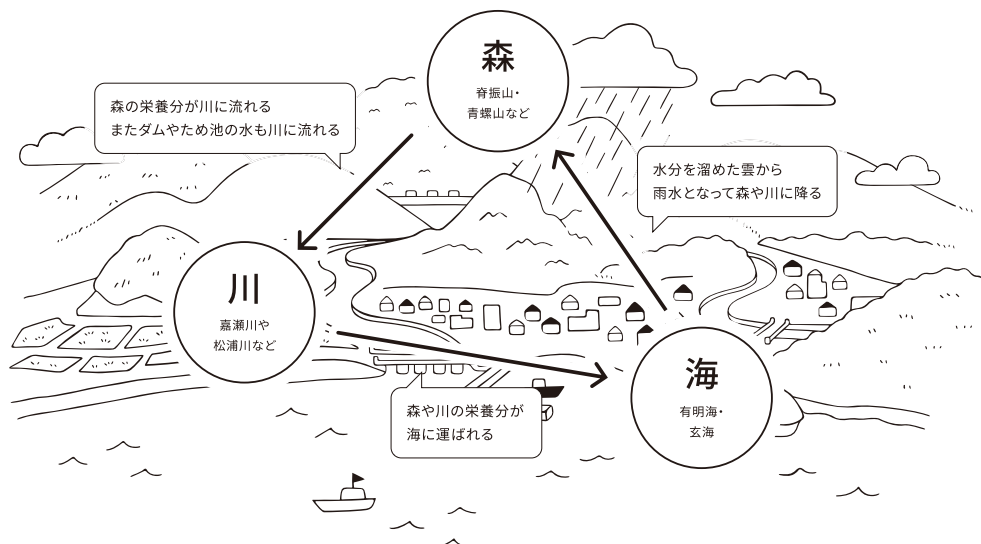
山に降った雨は、地面に染み込んだ地下水や、地表を流れる水となって少しずつ川に流れていきます。

川の水はわたしたちの飲み水や生活、農業、工場などで使われる水となり、多くの生き物を育みながらやがて海にたどり着くのです。

このように、森・川・海がそれぞれつながって、くりかえしめぐり続けることを「循環」といいます。

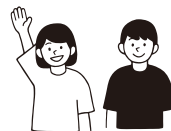
水が循環し続けるには、森・川・海がそれぞれ元気であることが大切です。

森・川・海はつながっています



わたしたちにできること

日々の暮らしの中でできることに少しずつ取り組んでいきましょう。
取り組みの輪の広がりが佐賀の豊かな自然を守ることにつながります。



1 森・川・海の自然を楽しむ、知る

- 森を散歩する、登山を楽しむ、山歩きをする
- 水がどこから流れてきているのか、考えてみる
- 川や海で魚釣りや水遊びを楽しむ
- 森・川・海のイベントに参加する



2 森・川・海を大切に思い、暮らしの中で資源を使う

- 県産木材を大切に使う
- 水は必要な分だけ使う
- 県産の農林水産物や旬のものを食べる



3 森・川・海にすんでいる生き物を思う

- 生き物がすみやすい環境を守る
- 森・川・海にすむ生き物（鳥、昆虫、魚など）の動きや暮らしを観察したり、図鑑で調べてみる
- 田んぼやクレーク（農業用排水路）にすむ生き物を観察する



4 森・川・海を大切に思い、ゴミを見かけない街にする

- 指定の場所にゴミを捨てる、持ち帰る
- 調理くずや油を川や家の排水口に流さない
- 食べ残しや飲み残しがないよう、食事は必要な分だけ用意する
- 使い捨てプラスチックの使用を減らす



◆し ぜんこうえん 自然公園

すぐれた自然の風景地をまもる必要がある場所を自然公園として指定しており、県内には、
 国定公園が1か所、県立自然公園が6か所あります。自然公園には、レクリエーションや自然
 学習などの自然とふれあうための施設（キャンプ場や展望台など）が整備されています。一方
 で、自然をまもるため、看板や建物などを作ったり、木を切ったりする場合は、県の許可や市
 町への届出が必要になっています。

◆し ぜん 九州自然歩道

九州自然歩道は、九州を一周する自然観察歩道です。歩道の全長は約2,900kmにもおよ
 び、佐賀県内は長崎県境の栗ノ木峠から福岡県境の基山まで総延長約125kmとなっています。



げんかい 玄海国定公園七ツ金
(唐津市)



げんかい 玄海国定公園虹の松原
(唐津市)



はちまんだけ 八幡岳 (唐津市、多久市、
伊万里市、武雄市)



くろかみ 黒髪山
(伊万里市、武雄市、有田町)



たらのだけ 多良岳県自然環境保全地域
(太良町)



りゅうもんきょう 竜門峡
(有田町)



げんかい 玄海国定公園いろは島
(唐津市肥前町)



げんかい 玄海国定公園波戸岬
(唐津市鎮西町)

- げんかい 玄海国定公園
- くろかみ 黒髪山県立自然公園
- たらのだけ 多良岳県立自然公園
- てんざん 天山県立自然公園
- はちまんだけ 八幡岳県立自然公園
- かわかみ 川上・金立県立自然公園
- せふりさん 脊振・北山県立自然公園
- しぜんかんきょう 自然環境保全地域
- しぜん 九州自然歩道
- せいたいけい 生物多様性重要地域



公園名	面積 (ha)	指定年月日
玄海国定公園	3,924	昭和 31.6.1
黒髪山	1,684	昭和 12.7.5
多良岳	4,498	昭和 27.12.24
天 山	4,930	昭和 45.10.1
八 幡 岳	860	昭和 45.10.1
脊振・北山	7,967	昭和 50.12.12
川上・金立	3,021	昭和 50.12.12

◆し ぜんかんきょう ほ ぜん ち いき 県自然環境保全地域

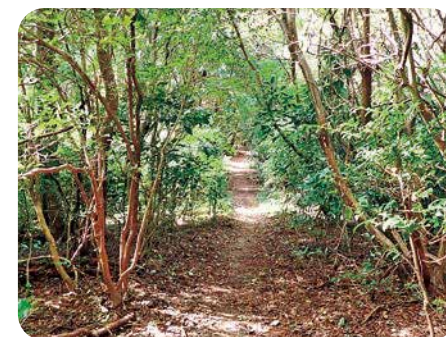
すぐれた自然環境をまもるために、檜原湿原と多良岳山頂付近を県自然環境保全地域に指
 定しています。県民の皆さんの財産として、将来にわたりまもっていくため、保全地域内
 の木の伐採などには県の許可が必要です。また、貴重な動植物をつかまえたり、持ちかえる
 ことは禁止されています。

◆た ようせいじゅうよう ち いき 生物多様性重要地域

豊かな生態系が守られている地域を生物多様性重要地域に指定して、いろいろな生き物が
 くらせる環境を目指しています。「黒髪山系及び周辺」「佐賀平野のクリークや水路」「有明海
 沿岸」「玄界灘の島々及び周辺海域」「脊振山系」「天山」「伊万里湾沿岸」「唐津市及び伊万里
 市の里山草原」「経ヶ岳及びその周辺」「大野原及び周辺ため池」の10カ所を選定しています。



かしはるしつげん 檜原湿原県自然環境保全地域
(唐津市七山)



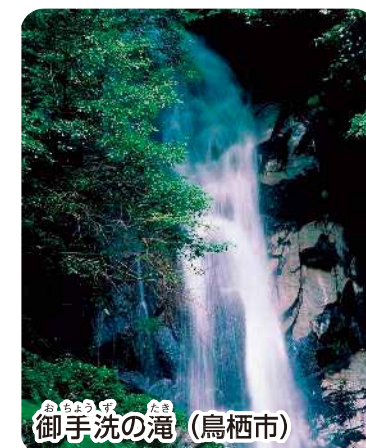
し ぜん 九州自然歩道



きたやまこ 北山湖 (佐賀市富士町・三瀬村)



かわかみ 川上峡 (佐賀市大和町)



みづうみ 御手洗の滝 (鳥栖市)

◆佐賀県の貴重な自然

○^{かしばるしつげん} 桧原湿原 (唐津市七山)

ハッチョウトンボ、サギソウ、トキソウなどのめずらしい動植物が生きています。



ハッチョウトンボ



トキソウ



サギソウ



モートン
イトトンボ

○^{たらだけ} 多良岳 (太良町)

国の天然記念物のヤマネやブチサンショウウオ、チャルメルソウなどのめずらしい動植物が生きています。また天然^{てんねん}のブナやケヤキの林があるところもあります。



ブチサンショウウオ



ヤマネ



○有明海

ムツゴロウ、オオシャミセンガイ、アリアケヒメシラウオなどのめずらしい生物がすんでいます。また、数少ないシチメンソウの自生地としても知られています。



シチメンソウ



ムツゴロウ



オオシャミセンガイ



アリアケヒメシラウオ

○川やクリーク

佐賀平野の川やクリークは日本有数の^{たんすい}淡水魚の^{ほうこ}宝庫となっています。



多布施川



三ッホンバラタナゴ



オヤニラミ



カワバタモロコ

○ラムサール条約登録湿地

2015年5月28日、佐賀市の「東よか干潟」と鹿島市の「肥前鹿島干潟」が佐賀県で初めてラムサール条約湿地に登録されました。

ラムサール条約は、正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。1971年にイランの町、ラムサールで結ばれたのでラムサール条約と呼ばれています。

干潟には、鳥のえさとなるたくさんの生き物がくらしているのので、条約を結んでいる国は、世界の重要な湿地の自然をこわさないよう協力しています。私たちも世界の重要な湿地を利用している渡り鳥たちのためにも干潟をみんなでももする必要があります。



南西から見た東よか干潟の全景
(出典：環境省「日本のラムサール条約湿地」)



北西から見た肥前鹿島干潟の全景
(出典：環境省「日本のラムサール条約湿地」)



干潟表面の珪藻（藻のなかま）を食べる
絶滅きぐ種のムツゴロウ（撮影：中村安弘）



干潟で遊ぶ絶滅きぐ種の
クロツラヘラサギ
(撮影：中村安弘)

干潟 生き物図鑑 検索

有明海の干潟の生き物を見に行ってみよう！
http://sy.pref.saga.lg.jp/higata_ikimono/

◆^か変わりゆく生き物

佐賀県の自然の中には、鳥、ほ^{にゆうるい}乳類、植物、昆虫、魚、両^{こんちゆう}生類、は虫類^{ちゆうるい}などたくさんの生き物がすんでいました。しかし、最近^{さいきん}は人間による開発や、外来生物、気候変動などの影響により、生き物の生活環境が大きく変わってきました。その結果、昔はたくさんいた生き物が少なくなり、絶滅のおそれのある動植物の種類が増えています。

絶滅^{ぜつめつ}のおそれのある動植物（絶滅^{ぜつめつ}きぐ種^{しゆ}）

生き物の生活環境が変わってしまったため、昔からいた動植物の種類がだんだん減ってきています。その中でも、数がとても少なく、滅^{ほろ}んでしまうおそれのある動植物を「絶滅^{ぜつめつ}きぐ種^{しゆ}」といいます。佐賀県では現在、931種の絶滅危惧種がいます。



クロカミラン
人の採取^{さいしゆ}により
数が減っている。



アゲマキガイ

有明海に生息、昔は普通に見られたがとても数が減っている。



ツクシガモ
干潟^{ひがた}の減少^{げんしゆう}により数が減っている。



ゲンゴロウ

昔は普通に見られたが、生息地の埋め立てや雑木林の伐採により数が減っている。



アリアケスジシマドジョウ
農地の整備や水質汚濁などが原因で数が減っている。



ベッコウトンボ

県内ではほとんど見られなくなっている。

がいらいせいぶつ がいらいしゅ
外来生物 (外来種)

もともといなかった国や地域に、人間によって持ち込まれた生き物を「外来生物 (外来種)」といい、昔からすんでいた生き物を「在来種」といいます。外来生物は、人間によってペットや観賞用・食用として持ち込まれたり、貨物といっしょに連れてこられたりしたものもあります。在来種を食べたり、在来種のエサや生息環境を奪ったりすることで、生態系のバランスをくずすなどして大きな問題となっています。



ブラックバス (オオクチバス)
在来の魚介類などを食べたりします。

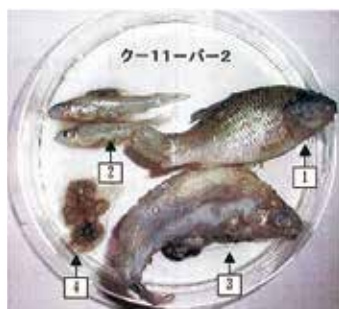


ホテイアオイ
水面を埋めつくして日光をさえぎり、冬には枯れて水質悪化の原因となり、他の動植物が生きていけなくなったりします。

オオクチバスの胃の中に入っていたもの

食べたもの

- ① フナ (1)
- ② モツゴ (2)
- ③ タナゴ (1)
- ④ 消化物



◆佐賀県に在る外来生物

植物



オオキンケイギク



ブラジルチドメグサ



オオフサモ



ボタンウキクサ



ナガエツルノゲイトウ

魚類



ブルーギル



カダヤシ



タイリクバラタナゴ

ほ乳類



アライグマ

は虫類



ワニガメ

条件付特定外来生物

2023 年 6 月から法律で指定されました。飼育されている個体が多いため、一般の人がペットとして飼育することはできますが、外へ放つこと、販売・購入は禁止されています。



写真（一財）自然環境研究センター

アメリカザリガニ

水草や魚類、両生類、水生昆虫、貝など、なんでも食べます。



ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）

もともからいたカメの日光浴の場やエサを奪ったりします。水草やさまざまな水生生物を食べます。

生物の多^た様^{よう}性^{せい}の危^き機

地球上には、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが、山、森、川、海などのさまざまな環境^{かんきよう}の中で支え合^えって、お互いに関係しながら生きています。しかし人間の活動による影響^{えいきよう}で生きものが少なくなったりして、生態系のバランスがくずれてきています。

第1 の危機

開^{らん}発^{かく}や乱^{らん}獲^{かく}

人間の生活を豊かにするために生き物が捕まえられたり、住みかをうばわれています。



第2 の危機

人^{ひと}の手が入らなくな^いった里^{さと}地^ち・里^{さと}山^{やま}

山や田畑の手入れをする人が少なくなり、里地・里山に住んでいた生き物が住みにくい場所になってきています。



第3 の危機

が^がい^いら^らい^いせ^せい^いぶ^ぶつ^つ 外^{がい}来^{らい}生^{せい}物^{ぶつ}による被^ひ害^{がい}

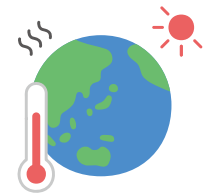
人間が他の地域から持ち込んだ外來生物が増え、もともとそこに住んでいた生き物たちのバランスが崩^{くず}れています。



第4 の危機

地^ち球^{きゅう}環^{かん}境^{きよう}の^の変^{へん}化^か

地球温暖化など地球全体にかかわる環境の変化により、生きものの住みかが失われています。



わたしたちに できること

- 近^しく^{ぜん}の自^じ然^{ぜん}を^{かん}察^{さつ}して、どうしたらいいか、家^け族^{ぞく}や地^ち域^{いき}の人^{ひと}たちと考^{かんが}えてみよう。
- イヌ、ネコ、カメ、魚などのペッ^{ペット}を飼^かうときは、最^{さい}後^ごま^{まで}めんどうをみよう。
- 水^{みづ}そうや花^{はな}だんなどで動^{どう}植^{しょく}物^{ぶつ}を育^{そだ}てるときは、周^{しゅう}り^に出^でて行^いかないように注^{ちゅう}意^いしよう。
- ブラッ^{ブラック}バ^{バス}（オオク^{オオク}チ^チバ^{バス}）やブル^{ブルー}ギ^ギルなどの外^{がい}来^{らい}種^{しゆ}は放^{はな}流^{りゅう}しないようにしよう。